

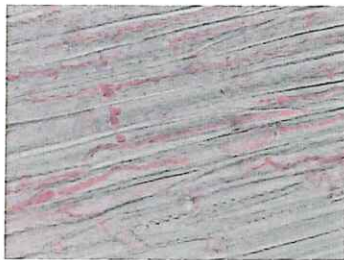
エンドファイト中毒に注意してください。

輸入ストローを牛に給与したとき、まれに流涎などの中毒症状を起こすことがあります。エンドファイト中毒とされていますが、輸入ストローを単味で給与した場合に起こりやすいので、乾草が不足する時期（冬場など）に輸入ストローを給与する場合は注意してください。

エンドファイト中毒とは？

輸入ストロー（麦わら）の材料になるペレニアルライグラスには、エンドファイトという微生物が感染していて、牛に中毒を起こす毒素を作ります。

中毒になった牛は、首や脇腹の筋肉をけいれんさせたり、足が突っ張ってうまく歩けなくなったりします。ひどいときには立てなくなってしまう。



左は、エンドファイトに感染した粗飼料を顕微鏡で見た写真です。赤く染まって見えるのが、エンドファイトという微生物の菌糸です。

輸入ストローとは

ライグラスストロー、イタリアンストローなどと呼ばれて市販されている、アメリカから輸入されたストロー（麦わら）です。

正確には、ペレニアルライグラスというイネ科の植物の種子を採った後のわらです。栄養価は低いですが安価なので、稲わらの代わりに使われています。

輸入ストローは上手に使って牛の中毒を防ぎましょう。

輸入ストローを使うにはどうすればいいのですか？

ストローに毒素が含まれていても、その量が少なければ牛は中毒を起こしません。動物衛生研究所の研究で、これ以下なら食べても中毒を起こさない毒素の量がわかりました。

牛が中毒を起こさないように、給与するストローの量を調節し、牛が食べる毒素の量を少なくしてあげましょう。

購入したストローの毒素濃度はどうしたらわかるのですか？

飼料会社は、アメリカから輸入するストローの毒素濃度を調べています。ストローを購入する際に、ロリトレムBという毒素の濃度を確認してください。ロリトレムBの濃度はppb(ピーピービー)という単位で表示されています。1 ppbとは、1 kgのストローに1 gの100万分の1の毒素が含まれていることを表しています。

大きい牛はその分たくさんの毒素を食べても中毒になりにくいので、牛に給与できる量は牛の体重によって異なります。しかし、牛の中には毒素に弱いものもいます。

もし、けいれんなどの中毒症状が出たら、すぐにストローの給与を中止してください。症状が軽いうちに給与をやめれば、牛は数日で回復します。

牛に異常が見られたら。

家畜保健衛生所までご連絡ください。(TEL : 0980-52-2939)